

「Neurological Surgery 脳神経外科」第 42 巻 総目次

2014 年（第 1 号—第 12 号）

数字は通巻頁数, () は号数

【扉】

- てんかんと野球……………堀 智勝・ 3 (1)
国境なきアジア時代の始動……………河瀬 斌・ 97 (2)
米国における小児脳神経外科の現状
……………富田 忠則・ 191 (3)
脳腫瘍化学療法の夜明け……………野村 和弘・ 297 (4)
医療安全文化……………三木 保・ 407 (5)
脳動脈瘤手術八節……………五味 玲・ 505 (6)
何のために働くのか……………河野 道宏・ 603 (7)
活物窮理……………中尾 直之・ 699 (8)
コミュニケーションとプレゼンテーション
……………鎌田 恭輔・ 805 (9)
脳道の勧め……………三原 千恵・ 897 (10)
どうプレゼンテーションするか？
……………吉村 紳一・ 995 (11)
離島からのラブコール—こんな生き方もあり
ますよ……………竹井 太・ 1093 (12)

【総説】

- 非側頭葉てんかんの外科治療……………三國 信啓・ 5 (1)
傍鞍部腫瘍の自然歴と治療適応の検討につい
て……………大宅 宗一・松居 徹・ 99 (2)
神経集中治療における頭蓋内圧モニターの有
用性, revisit……………末廣 栄一・鈴木 倫保・ 195 (3)
脳アミロイド血管症の病理……………中里 洋一・ 299 (4)
スポーツ頭部外傷における脳振盪の意義と対
応……………永廣 信治・ 409 (5)
中枢神経系原発悪性リンパ腫の診断と治療—
最近の動向……………泉本 修一・ 507 (6)
脳神経外科リハビリテーションにおけるロボ
ティクス技術の応用
……………中井 啓・松村 明・ 605 (7)
神経膠腫におけるエピジェネティクス機構と
non-coding RNAs
出口 彰一・近藤 豊・夏目 敦至・ 701 (8)
難治性てんかんのパラダイムシフト—緩和的
治療の存在意義と迷走神経刺激療法—

- ……………川合 謙介・ 807 (9)
脳神経外科分野での「ユビキチン・プロテア
ソーム系」—タンパク質の臨床応用—
……………道上 宏之・伊達 勲・ 899 (10)
Conventional GBM vs GBMO: この 2 つの病態
の entity は同一か否か—Update informa-
tion……………伊東 民雄
中村 博彦・田中 伸哉・長谷川 匡・ 997 (11)
髄液の産生と吸収の再考
……………宮嶋 雅一・新井 一・ 1095 (12)

【解剖を中心とした脳神経手術手技】

- ViewSite™ を用いた脳内・脳室内深部腫瘍摘
出術
岸田 悠吾・佐藤 拓・織田 恵子
市川 優寛・佐久間 潤・齋藤 清・ 311 (4)
頸動脈内膜剝離術における脳・頸神経損傷の
回避—外科解剖と手術手技—
……………一ツ松 勤・ 817 (9)

【研究】

- 脊髄・馬尾疾患における排尿障害についての
検討（第 1 報）—尿流測定検査の再現性
—……………倉石 慶太・花北 順哉
高橋 敏行・渡邊 水樹・上坂十四夫
本多 文昭・南 学・上野 学・ 19 (1)
中枢神経悪性腫瘍への放射線照射に伴う悪
心・嘔吐に対するグラニセトロンの効果
……………山崎 文之
渡邊 陽祐・野坂 亮・権丈 雅浩
中村 和洋・高安 武志・齋藤 太一
富永 篤・杉山 一彦・栗栖 薫・ 27 (1)
橋出血による認知機能障害の検討
……………根木 宏明・山根 文孝
大沢 愛子・前島伸一郎・石原正一郎・ 109 (2)
脳室内および傍腫瘍に対する神経内視鏡手
術—生検術と水頭症治療における意義と
今後の課題—

黒崎 邦和・林 央周・浜田 秀雄 永井 正一・遠藤 俊郎・黒田 敏・ 205 (3)	
当院における頭蓋内腫瘍の治療成績の検討 ……………矢内 啓 大宅 宗一・藤澤 直顕・土屋 掌 印東 雅大・中村 巧・松居 徹・ 213 (3)	
非小細胞肺癌転移性脳腫瘍に対する Linac に よる定位手術的照射単独での初期治療の 検討……………永井 睦・小熊 啓文 新井 文博・渡辺 英寿・仲澤 聖則・ 327 (4)	
難治性てんかんに対する迷走神経刺激法の 手術合併症：26 例の経験から 下川 能史・森岡 隆人・佐山 徹郎 濱村 威・橋口 公章・村上 信哉・ 419 (5)	
臨界血管内圧からみた脳動脈瘤クリップの特 性—高圧灌流回路とブタ血管を用いた基 礎研究—……………水庭 宜隆 田中雄一郎・伊藤 英道・大塩恒太郎・ 523 (6)	
5-ALA 誘導 protoporphyrin IX の蛍光を視認で きる腫瘍細胞密度の検討—培養グリオ マ細胞と臨床例での測定—…北井 隆平 竹内 浩明・三好 憲雄・Bibin Andriana 根石 拓行・橋本 智哉・菊田健一郎・ 531 (6)	
離島発症くも膜下出血患者のヘリコプター搬 送のタイミングについて……川原 一郎 松永 裕希・堤 圭介・高島 英昭 小野 智憲・戸田 啓介・馬場 啓至・ 537 (6)	
頸動脈プラーク性状と臨床症状に対して加齢 が及ぼす影響 引地堅太郎・石川 達哉・宮田 元 師井 淳太・河合 秀哉・竹中 俊介 吉岡正太郎・宇田 賢司・岡田 健 小林 慎弥・齋藤 浩史・田邊 淳 古谷 伸春・安井 信之・鈴木 明文・ 829 (9)	
脳実質内病変に対する生検術の術式選択と工 夫……………種井 隆文・竹林 成典 中原 紀元・永谷 哲也・若林 俊彦・ 837 (9)	
Extradural temporopolar approach を用いた傍鞍 部脳腫瘍に対する外科的治療戦略 大谷 直樹・和田孝次郎・小林 靖 熊谷 光佑・上野 英明・長田 秀夫 中尾 保秋・山本 拓史・森 健太郎・ 907 (10)	
内頸動脈-前脈絡叢動脈分岐部脳動脈瘤に対 する治療—治療方法と虚血合併症につい て—	

目黒 俊成・桑原 研・富田 祐介 大熊 佑・田邊 智之・村岡賢一郎 寺田 欣矢・廣常 信之・西野 繁樹・ 917 (10)	
頸動脈ステント留置術後に合併したステント 内血栓症の発症要因に関する検討 ……………尾崎 沙耶 田川 雅彦・松本 調・井上 明宏 渡邊 英昭・久門 良明・大西 丘倫・ 1009 (11)	
変性すべり症を伴った腰部脊柱管狭窄症に対 する減圧術の長期予後……………佐々木 修 中村 公彦・梨本 岳雄・山下 慎也 矢島 直樹・鈴木 健司・斎藤 明彦・ 1109 (12)	
80 歳以上症候性内頸動脈狭窄症の画像学的、 病理学的特徴および頸動脈内膜剝離術の 治療成績……………和田孝次郎・有本 裕彦 大谷 直樹・長田 秀夫・富山 新太 戸村 哲・上野 英雄・藤井 和也 長谷 公洋・竹内 誠・森 健太郎・ 1118 (12)	

〔テクニカル・ノート〕

Image fusion を活用した海綿静脈洞部硬膜動 静脈瘻の病態把握と治療の検討 ……………山口 慎也 伊藤 理・田中 厚生・高岸 創 連 乃駿・瀧川 浩介・松角宏一郎・ 841 (9)	
パルスジェットメスを用いた蝶形骨縁髄膜腫 摘出手術—血管温存能を活用して— 遠藤 俊毅・中川 敦寛・藤村 幹 園田 順彦・清水 宏明・富永 悌二・ 1019 (11)	

〔症例〕

左椎骨動脈後下小脳動脈分岐部の未破裂脳動 脈瘤に対してお側後頭下開頭にてクリッピ ングを行った 1 例……………前田 一史 田中 俊也・宮園 正之・松尾 吉紘 徳永 聡・長岡慎太郎・上坂十四夫 伊飼 美明・宇野 淳二・魏 秀復・ 35 (1)	
奇形性血管から発生したと思われる破裂前下 小脳動脈末梢部動脈瘤の 1 例 ……………引地堅太郎 石川 達哉・師井 淳太・宮田 元・ 41 (1)	
STA の interposition graft を用いた STA-ACA バイパスおよび endovascular trapping を 行った前大脳動脈解離によるくも膜下出 血の 1 例	

- 大川 将和・安部 洋・岩朝 光利
野中 将・東 登志夫・井上 亨・ 47 (1)
- 外科的手術単独で治療し得た海綿静脈洞部洞
外硬膜動静脈瘻の1例……乾 登史孝
奥野 修三・橋本 宏之・藤本 憲太・ 53 (1)
- 急性期再開通療法における susceptibility-
weighted angiography (SWAN) を用いた
血栓局在同定の有用性: 3 例報告
大西 宏之・松本 昭大・清水 淳哉
中尾 善弘・奥田 泰章・萬野 理
谷口 博克・矢木 崇善・黒岩 敏彦・ 115 (2)
- 免疫正常者の *Cryptococcus neoformans* var.
gattii 髄膜脳炎による cryptococcoma に対
し外科的切除術が奏功した1例
稲田 拓・今村 博敏・川本 未知
関谷 博顕・今井 幸弘・谷 正一
足立 秀光・石川 達也・峰晴 陽平
浅井 克則・池田 宏之・小倉 健紀
柴田 帝式・別府 幹也・阿河 祐二
清水 寛平・坂井 信幸・菊池 晴彦・ 123 (2)
- 脳卒中で発症した reversible cerebral vasocon-
striction syndrome の3例
伊師 雪友・杉山 拓・越前谷すみれ
横山 由佳・浅岡 克行・板本 孝治・ 129 (2)
- 糖尿病合併下垂体卒中患者における動眼神経
麻痺の鑑別に 3D-FIESTA MRI が有用で
あった1例……山内 貴寛
北井 隆平・根石 拓行・常俊 顕三
松田 謙・有島 英孝・小寺 俊昭
新井 良和・竹内 浩明・菊田健一郎・ 137 (2)
- 脳梗塞との鑑別が困難であった特発性脊髄硬
膜外血腫の2症例—診断における頸部
MRA 元画像の有用性—
上羽 佑亮・北条 雅人・宗光 俊博
鈴木 啓太・川崎 敏生・齋木 雅章・ 143 (2)
- Cavernous sinus に発生した epidermoid の1例
—解剖学的な分類と手術アプローチ—
黒井 康博・吉村 知香・横佐古 卓
新井 直幸・大淵 英徳・広田 健吾
笹原 篤・萩原 信司・谷 茂
藤林真理子・久保 長生・糟谷 英俊・ 149 (2)
- 嚢胞開窓術後に発汗, めまい, しびれが速や
かに改善した小脳延髄槽くも膜嚢胞の1
例
松岡 剛・久保田有一・石井 暁
- 浅井 彰久・谷藤 誠司・岡田 芳和・ 221 (3)
- バルーンカテーテルを用いた間欠的空気拡張
法による嚢下訓練が奏功した Wallenberg
症候群に伴う嚢下障害の1例
……宮本 淳一・新島 京
久保 陽介・宮崎 博子・井口福一郎・ 227 (3)
- 頭蓋内 primary leptomeningeal lymphoma の1
例……金 恭平・小野 恭裕
久松 芳夫・蔵本 智士・勝間田 篤
吉田 秀行・河内 正光・中村 聡子・ 233 (3)
- 第三脳室開窓術後に SIADH による低ナトリ
ウム血症を呈した1例
重枝 諒太・遠藤 英徳・藤村 幹
小川 欣一・清水 宏明・富永 悌二・ 335 (4)
- 起立性頭痛を呈さなかった特発性低髄液圧症
候群に伴う両側性慢性硬膜下血腫の1例
……坂倉 和樹・鮎澤 聡
増田 洋亮・金 暎浩・松村 明・ 341 (4)
- 間接バイパス術後30年を経て出血発症した
もやもや病の成人例—追加的脳血管再建
術の手技と有用性について—
堀 聡・柏崎 大奈・秋岡 直樹
浜田 秀雄・桑山 直也・黒田 敏・ 347 (4)
- 脳室内出血にて発症した松果体部 glioblasto-
ma multiforme の1例
鈴木亮太郎・鈴木 謙介・杉浦 嘉樹
高野 一成・永石 雅也・清水 信行
滝川 知司・田中 喜展・兵頭 明夫・ 429 (5)
- もやもや病に生じた前脈絡叢動脈末梢の脳動
脈瘤に対して選択的コイル塞栓術を行っ
た1例……岡村 朗健・川本 行彦
迫田英一郎・村上 太郎・原 健司
岡崎 貴仁・岐浦 禎展・栗栖 薫・ 437 (5)
- 右後頭葉髄膜腫摘出後に一過性に出現した
Charles Bonnet syndrome の1例
……荒井 隆雄
長谷川 譲・田中 俊英・加藤 直樹
渡邊 充祥・中村 文・村山 雄一・ 445 (5)
- 鼻腔から発生し, 頭蓋内浸潤を来した small
cell neuroendocrine carcinoma の1例
……小野 恭裕・久松 芳夫
蔵本 智士・勝間田 篤・河内 正光
金井 健吾・中村 聡子・廣瀬 隆則・ 453 (5)
- Accessory anterior cerebral artery に発生した前
大脳動脈瘤の2症例—文献的考察と診断

における留意点—
 ……前田 一史・田中 俊也
 波多江龍亮・前田 善久・宮園 正之・ 461 (5)
 脊髄空洞症を合併した硬膜内くも膜嚢胞の1
 例……………伊師 雪友・青山 剛
 栗栖 宏多・飛騨 一利・寶金 清博・ 467 (5)
 小脳出血で発症した小児髄芽腫の1例
 ……………古畑 匡規
 藍原 康雄・江口盛一郎・堀場 綾子
 田中 雅彦・小森 隆司・岡田 芳和・ 545 (6)
 胃癌原発側脳室内転移性脳腫瘍の1例
 ……………大下 純平・大庭 信二
 伊藤 陽子・米澤 公器・細貝 昌弘・ 553 (6)
 漏斗下垂体炎による中枢性尿崩症と後腹膜線
 維症を合併した、IgG4 関連疾患と考え
 られる1例
 田中 潤・荒井 篤・林 成人
 阪上 義雄・荒木 恒太・垣内 誠司
 野村 哲彦・桑村 圭一・甲村 英二・ 561 (6)
 塞栓子（白色血栓）を予測して Penumbra
 System® より Merci® Retrieval System に
 速やかに変更することで血行再建し得た
 頭蓋内内頸動脈閉塞症の1例
 ……………井上 明宏
 田川 雅彦・久門 良明・尾崎 沙耶
 西川 真弘・渡邊 英昭・大西 丘倫・ 567 (6)
 Pushable coil で母血管閉塞術を施行した caro-
 tid blowout syndrome の1例……………福田 修志
 林 健太郎・山口 将・堀江 信貴
 森川 実・陶山 一彦・永田 泉・ 615 (7)
 術後過灌流が再燃して症候化したと考えられ
 る成人もやもや病の1例
 ……………林 智秀・柏崎 大奈
 秋岡 直樹・桑山 直也・黒田 敏・ 621 (7)
 下垂体前葉機能低下症に対しホルモン補充療
 法が奏効した男性乳癌下垂体転移の1例
 ……………福永 篤志
 矢崎 貴仁・清水 克悦・落合 真人・ 629 (7)
 頸部放射線照射後の頸動脈狭窄に対して
 proximal および distal protection を併用し
 頸動脈ステント留置術を施行した1例
 ……………福田 修志・林 健太郎
 堀江 信貴・森川 実・山口 将
 諸藤 陽一・日宇 健・永田 泉・ 635 (7)
 小脳虫部髄芽腫に対する放射線療法 25 年後

に発生した前頭葉 CNS primitive neuroec-
 todermal tumor の1例
 ……………佐藤 裕之・澁谷 航平
 小泉 孝幸・加藤 俊一・遠藤 深・ 641 (7)
 脳内出血にて発症した isolated central nervous
 system relapse of diffuse large B-cell
 lymphoma の1例
 ……………金 泰均・輪島 大介
 米澤 泰司・高村 慶旭・宮前 誠亮・ 651 (7)
 頭蓋内出血で発症した神経梅毒の1症例
 ……………高 正圭
 柏崎 大奈・山谷 和正・黒田 敏・ 711 (8)
 治療方針の決定に MRI が有用であった石灰
 化慢性硬膜下血腫の1手術例
 ……………伊藤美以子・齋藤伸二郎
 近藤 礼・長畑 守雄・嘉山 孝正・ 717 (8)
 蝶形骨縁髄膜腫の摘出後に症候化した横・S
 状静脈洞硬膜動静脈瘻の1例
 ……………服部 智司・壁谷 龍介
 圓若 幹夫・戸崎富士雄・梶浦 大・ 723 (8)
 大脳半球円蓋部硬膜に発生した海綿状血管腫
 の1例—文献的に考察した画像の特徴に
 ついて—
 米澤 潮・井川 房夫・浜崎 理
 日高 敏和・黒川 泰玄・大沼 秀行・ 731 (8)
 周術期管理に苦慮した動脈硬化を合併した成
 人類もやもや病の1例
 ……………坂田 洋之・藤村 幹
 佐藤 健一・清水 宏明・富永 悌二・ 737 (8)
 真の mixed pial-dural arteriovenous malforma-
 tion の1例
 牧 貴紀・舟木 健史・高橋 淳
 高木 康志・石井 暁・菊池 隆幸
 吉田 和道・牧野 恭秀・宮本 享・ 745 (8)
 短期間に画像所見の変化を認めた巨大紡錘状
 中大脳動脈瘤の1手術例
 ……………昆 博之・梅澤 邦彦
 斉藤 敦志・佐々木達也・西脇美知春・ 851 (9)
 著明な腫瘍サイズの変化を来した mixed
 germ cell tumor の1例……………桑山 一行
 高井 洋樹・西山 徹・平井 聡
 横須賀公彦・戸井 宏行・平野 一宏
 松原 俊二・宇野 昌明・西村 広健・ 859 (9)
 重症横紋筋融解症と頭蓋内出血を合併した脱
 法ハーブ使用者の1例……………種井 隆文

森田 良樹・八島 章人・脇田 寛之
 竹林 成典・中原 紀元・若林 俊彦・ 867 (9)
 後大脳動脈遠位部動脈瘤 (P4 segment) の 1
 例
 川端 将之・河野 健一・寺田 友昭・ 873 (9)
 小児におけるシルビウス裂内 dermoid cyst—
 症例報告と文献的考察—
 …………… 加藤 直樹・Josefine Radke
 Peter Vajkoczy・Ulf Christoph Schneider・ 925 (10)
 ハローベスト牽引固定により不安定性を証明
 し得た頭蓋底陥入症の 1 例
 …………… 大沢伸一郎・鈴木 晋介
 佐々木 徹・金森 政之・上之原広司・ 931 (10)
 右側大動脈弓に合併した異所性左鎖骨下動脈
 狭窄に対する経皮的血管形成術の 1 例
 乾 登史孝・橋本 宏之・藤本 憲太
 下川原立雄・西口 充久・横山 昇平
 尾本 幸治・松岡 龍太・八重垣貴英・ 937 (10)
 進行性の脳神経麻痺を呈した肺癌原発下垂体
 腺腫内転移の 1 例……………藤森 健司
 岡内 正信・新堂 敦・川西 正彦
 三宅 啓介・河井 信行・田宮 隆・ 943 (10)
 短期間に増大しコイル塞栓術を行った前脈絡
 叢動脈末梢部に発生した破裂脳動脈瘤の
 1 例……………池田 宏之
 山名 則和・林 晃佑・池堂 太一
 松井 恭澄・廣瀬 智史・西村 真樹
 松本 直樹・江夏 怜・齊木 雅章・ 951 (10)
 遠位部前脈絡叢動脈瘤破裂による脳内出血に
 対して血腫除去術と NBPA による塞栓
 術を施行した片側もやも病妊婦の 1 例
 ……………村上 友太
 佐藤 拓・田村 貴光・経塚 標
 安田 俊・野村 泰久・五十洲 剛
 佐久間 潤・藤森 敬也・齋藤 清・ 961 (10)
 家族性もやも病に合併したくも膜下出血に
 対し脳血管内治療を行った 1 例
 ……………和田健太郎・服部 健一
 荒木 芳生・野田 智之・横 英樹
 雄山 博文・鬼頭 晃・若林 俊彦・1027 (11)
 硬膜外前床突起切除と視神経管開放により著
 明な視力改善が得られた外傷性視神経損
 傷の 1 手術例…………西田 翔・大谷 直樹
 井中 康史・森永 裕介・木村 尚平
 戸村 哲・長田 秀夫・播本 幸三

竹内 大・和田孝次郎・森 健太郎・1035 (11)
 てんかん性痙攣重積にたこつば型心筋症を併
 発した 1 例
 加藤 宏一・朝見 正宏・鰐淵 博・1039 (11)
 高速スピンエコー MRI において胸髄内血
 腫との鑑別に注意を要した髄内脂肪腫—
 症例報告…………清水 暁・関口 朋子
 望月 崇弘・河野 心範・河井 卓也
 鳥越総一郎・岡 秀宏・隈部 俊宏・1045 (11)
 蝶形骨縁から眼窩骨に発生した primary intra-
 osseous cavernous hemangioma の 1 手術
 例……………井中 康史・大谷 直樹
 西田 翔・熊谷 光佑・藤井 和也
 上野 英明・富山 新太・戸村 哲
 長田 秀夫・和田孝次郎・森 健太郎・1051 (11)
 補助人工心臓装着患者の脳塞栓症に対して急
 性期血管内治療が奏功した 1 例
 ……………小林 聡
 宮本 倫行・品田伸一郎・伊師 雪友
 下田 祐介・山崎 和義・牛越 聡
 大岡 智学・松居 喜郎・寶金 清博・1057 (11)
 シリコンアレルギーが引き起こした好酸球性
 髄膜炎に伴いシャント機能不全を繰り返
 した 1 例…………神原 瑞樹・宮崎 健史
 吉金 努・杉本 圭司・秋山 恭彦・1125 (12)
 小脳橋角部脂肪腫による三叉神経痛の 1 例
 ……………吉村 知香・菊池 麻美
 高橋 祐一・横佐古 卓・新井 直幸
 黒井 康博・小関 宏和・大淵 英徳
 広田 健吾・萩原 信司・谷 茂
 笹原 篤・藤林真理子・糟谷 英俊・1131 (12)
 迷走神経刺激療法目的で紹介され開頭手術治
 療を行った難治性てんかん患者
 ……………森岡 隆人
 下川 能史・佐山 徹郎・橋口 公章
 村上 信哉・重藤 寛史・鈴木 諭
 酒田あゆみ・横原 康亮・飯原 弘二・1139 (12)
 破裂瘤の同定に造影 MRI が有用であった多
 発性脳動脈瘤の 1 例
 ……………近藤 礼・山木 哲
 毛利 渉・佐藤 慎治・齋藤伸二郎
 長畑 守雄・長畑 仁子・嘉山 孝正・1149 (12)

〔脳神経外科をとりまく医療・社会環境〕

柔道事故にみる繰り返し脳損傷…………藤原 一枝・ 79 (1)

大学病院における院内教育支援の役割とその

必要性—新・院内学級設立を通して見え

てきたこと—藍原 康雄・岡田 芳和・171 (2)

てんかん症例への行政支援

兼本 浩祐・村居 巖・大島 智弘・665 (7)

〔連載 合併症のシステマティック・レビュー

—適切な Informed Consent のために〕

(12) 腰椎の除圧固定術

高橋 敏行・花北 順哉・渡邊 水樹

河岡 大悟・武部 軌良・北原 孝宏・249 (3)

(13) 定位・機能的脳神経外科手術

……………深谷 親・山本 隆充・751 (8)

〔連載 脊椎脊髄手術に必要な基本的知識〕

(5) 腰椎除圧術（狭窄症/ヘルニア）

……………高橋 敏行・花北 順哉・65 (1)

(6) 不安定性腰椎に対する腰椎固定術

……………川西 昌浩・157 (2)

(7) 脊椎脊髄腫瘍：脊椎腫瘍・脊髄腫瘍

……………高見 俊宏

山縣 徹・内藤堅太郎・大畑 建治・269 (3)

(8) 髄内腫瘍の診断と治療……………寶子丸 稔・363 (4)

(9) 小児脊髄手術……………井原 哲・483 (5)

(10) 手根管症候群……………原 政人・583 (6)

(11) 頭蓋頸椎移行部

……………安田 宗義・高安 正和・673 (7)

(12) 脊髄外傷の急性期治療とその管理

……………鈴木 晋介・777 (8)

〔連載 脳神経外科手術手技に関する私見と

その歴史的背景〕

12. Posterior circulation：血流再建術および脳

動脈瘤……………米川 泰弘・375 (4)

〔連載 脳卒中専門医に必要な基本的知識〕

(1) 脳卒中リスクファクター管理

……………芝崎 謙作・769 (8)

(2) 脳卒中における血小板活性化とその制御

……………長尾 毅彦・879 (9)

(3) 脳梗塞急性期治療……………山上 宏・967 (10)

(4) 脳梗塞慢性期外科治療（慢性期血行再建

術）……………片野 広之

間瀬 光人・西川 祐介・山田 和雄・1063 (11)

(5) 脳梗塞慢性期内科治療……………田口 芳治・1159 (12)

〔教訓的症例に学ぶシリーズ〕

閉塞した橈骨動脈バイパスグラフトに間接的

な側副血行の発達を認め治療完遂に至っ

た海綿静脈洞部巨大内頸動脈瘤の1例

……………徳永 浩司

菱川 朋人・杉生 憲志・伊達 勲・59 (1)

陸上競技用槍による穿通性頭部外傷の1例

……………西廣 真吾・竹内 亮

相原 寛・有澤 正・柏谷 信博・243 (3)

異なるMRI機種間で拡散強調画像所見の乖

離を認めた神経膠芽腫の1例

……………瀧川 浩介

道脇 悠平・秦 暢宏・吉浦 敬

鳥巢 利奈・吉川雄一郎・久田 圭

吉本 幸司・溝口 昌弘・佐々木富男・355 (4)

下垂体腺腫に対する経蝶形骨洞手術の術後、

蝶口蓋動脈からの鼻出血を生じ、塞栓術

にて治療した仮性動脈瘤の1例

雄山 博文・和田健太郎・服部 健一

鬼頭 晃・楨 英樹・野田 智之・473 (5)

遺残性原始三叉動脈に両側内頸動脈病変を伴

った1例……………平田 浩二

小松 洋治・木村 泰・松村 明・575 (6)

MR spectroscopy が診断に有用であった血管

内リンパ腫の1例

……………音琴 哲也・秦 暢宏

三月田祐平・藤岡 寛・井上 大輔

甲斐 康稔・芳賀 整・詠田 眞治・659 (7)

上矢状洞部硬膜動静脈瘻の1例：血管内治療

戦略に関する考察と教訓……………清水 崇

井関 征祐・大石 英則・菱井 誠人・1151 (12)

〔報告記〕

第12回国際脳血管攣縮学会（Vasospasm

2013）報告記

（2013年7月10～12日）……………鈴木 秀謙・240 (3)

7th Annual Meeting of Asia Pacific Cervical

Spine Society（Sapporo）

（2013年8月22日～23日）

……………飛驒 一利・360 (4)

第15回世界脳神経外科学会—WFNS 会長職

を代行して—

（2013年9月8～13日）……………河瀬 斌・478 (5)

International TIA/ACVS Conference

(2013 年 11 月 15, 16 日) …川俣 貴一・480 (5)

第 7 回アジアてんかん外科学会

(2013 年 10 月 25, 26 日) …貴島 晴彦・581 (6)

〔読者からの手紙〕

スポーツによる脳振盪の発生状況の把握に脳

神経外科医が果たすべき役割

……………藤原 一枝・872 (9)

〔文献抄録〕

丹下 祐一・87 (1)

菅野 秀宣・181 (2)

近藤 聡英・287 (3)

下地 一彰・397 (4)

杉野 寿哉・495 (5)

光原 崇文・593 (6)

山尾 幸広・689 (7)

舟木 健史・795 (8)

菊池 隆幸・887 (9)

荒川 芳輝・985 (10)

竹内 幹伸・名倉 崇弘・1083 (11)

上甲 眞宏・松尾 直樹・1173 (12)